

# 脳神経医学セミナー (来聴歓迎・事前登録不要)

ゲノム人類学と進化医学の架橋を目指して

太田 博樹 先生

東京大学 大学院理学系研究科 生物科学専攻



日時 2025年6月23日月曜日 午後5時～6時  
場所 金沢大学宝町キャンパス 医学図書館2階十全スタジオ  
<http://square.umin.ac.jp/top/map/med-lib.pdf>

1990年代の初頭、弥生時代の遺跡の古人骨からDNAを抽出することから私は研究人生をスタートしました。この古代DNA分析の黎明期は、サンガー法によるシークエンシングが一般的でしたが、次世代シークエンサーの登場により研究環境は一変しました。今日、古代DNA分析は古代ゲノム学という新たな分野へ発展し、人類進化学や考古学での仮説や課題を解き明かす重要なツールとなり、2022年には、スヴァンテ・ペーボ博士がノーベル生理・医学賞を受賞するに至っています。

私たちの研究は集団遺伝学や分子進化学の理論体系に基づいています。これらの理論は、人類だけでなくあらゆる生物の進化の理解に不可欠であり、現代的ダーウィン医学の基礎となります。私たちは「ゲノム人類学」という看板をかけ、人類～特にホモ・サピエンス～が、アフリカ大陸からユーラシア大陸へ拡散して以降、どのようなルートで、どのような環境適応を経て、現在の繁栄に至ったのかという問い合わせに挑戦しています。本講演では、私たちの取り組みを紹介しつつ、ゲノム人類学が目指すヒト進化の解明へのアプローチについてお話しします。

医学専攻・博士課程専攻共通up-to-dateセミナーおよび医学類選択科目  
医学研究特設プログラム・最新医学研究、MR Tプログラムセミナーに  
認定します。

問合せ 金沢大学 医学系 脳神経医学分野 河崎 洋志  
kawasaki-labo@umin.ac.jp